

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部国際交流課	関係部課室	産業経済部農村基盤計画課、森林整備課、環境生活部環境対策課・生活・文化課、教育庁総務課・高校教育課、病院局県立病院課
------	-----	-------	------------	-------	--

政策番号	4 - 11 - 1	政策名	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進
------	------------	-----	--------------------------------

施策番号	3	施策名	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進
------	---	-----	-----------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【政策評価指標達成状況から】 有効
 ・指標名: 公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数 達成度 A
 ・国際化が進展する中で、財政状況の悪化や鳥インフルエンザの拡大等で海外との地域間交流は昨年度より若干減少したが、目標値は達成しており、有効である。
 【県民満足度(政策)の推移から】 概ね有効
 ・満足度は、50点と「やや不満」を示しているものの、満足度60点以上の回答者の割合は40%以上あり、施策は概ね有効であったと判断する。
 【社会経済情勢を示すデータの推移から】 概ね有効
 ・(財)日本修学旅行協会の調べでは全国で海外修学旅行を実施した中学・高校は、昭和57年度に64校約10,000名だったものが、平成16年度には1,171校164,918名に増加している。
 ・出国日本人数は、16年度は中部国際空港の供給増が海外旅行需要を押し上げたこと等により増加したが、今年度は鳥インフルエンザの拡大等で前年度比0.58%減の約1,736万名(17年度)と減少した。一方、訪日外客数は愛知万博の開催等により前年度比9.3%増の約684万名(17年度)と、一貫して増加傾向にある。
 ・本施策は、海外との交流の拡大に、直接的・間接的に貢献しており、概ね有効である。

【総括】
 ・県民満足度は低い水準にあるものの、政策評価指標が目標を上回るとともに、社会経済情勢からも施策の有効性が確認されるので、施策は概ね有効だと判断する。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1	主	友好姉妹省州県交流関係事業	6		
2	主	海外技術研修員受入事業	7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

【国,市町村,民間団体との役割分担】 適切
 ・(国)なし。
 ・(県)友好姉妹関係にある省州県と国際交流・協力をを行う。
 ・(市町村)友好姉妹関係にある都市と国際交流・協力をを行う。
 ・(民間団体)県又は市町村の友好姉妹交流事業に協力する。
 ・県と市町村は、それぞれレベルに応じた規模、内容で友好姉妹交流・協力事業をさまざまな分野で展開しており、本施策に係る事業群は、上記役割分担に沿って実施されており、県の関与は適切である。
 【施策目的を踏まえた事業か】 適切
 ・各事業は、施策目的である「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」に直結する事業である。
 ・友好姉妹省州県交流関係事業については、友好姉妹関係にある中国吉林省、米国デラウェア州、伊国・ローマ県とさまざまな分野で国際交流・協力を推進する。
 ・海外技術研修員受入事業については、開発途上国からの要請に基づき、必要な専門技術等の習得を目的とした技術研修員を招致し、海外における本県の理解者を育成するとともに、県民が受入先として本事業に参加することを通じて、地域における国際交流・協力の重要性への認識を促す。
 【事業間で重複や矛盾がないか】 適切
 ・目的、対象者に応じ事業が適正に設定されており、重複や目的が矛盾する事業はない。
 【社会経済情勢に適応した事業か】 適切
 ・国際化が進展する中で、地域特性を生かした海外との地域間交流の促進が求められており、その社会ニーズに適合した事業である。
 【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性) 適切
 ・満足度は50点と低調だが、重視度は70点とある程度高い水準にあり、かい離は20と高くなっている。県民がこの施策に満足していないことは確かだが、逆に期待するところも小さくないことが伺え、この施策実現のために引き続き各事業の推進が必要である。

【総括】
 ・施策目的・県の役割分担・事業体系・社会経済情勢・県民満足度調査の推移から判断して、施策の県関与と事業群設定は「適切」である。

評価シート(B)

政策整理番号 35

施策番号 3 施策名 さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効 概ね有効 課題有

【施策満足度から】 概ね有効
 ・施策満足度は、50点と「やや不満」を示しているものの、満足度60点以上の回答者の割合は40%以上あり、施策は概ね有効だったと判断する。

【政策評価指標達成状況から】 有効 「政策評価指標分析カ - ド(4)ア」から抜粋
 ・現況値は、昨年度を下回ったものの、仮目標値は上回っており、有効である。

【社会経済情勢を示すデータの推移から】 有効
 ・海外との交流は活発化しており、今後は拡大傾向にあり、施策の目指す方向に向かっていくことから、有効である。

【業績指標推移から】 概ね有効
 ・年度によって事業内容が異なるため、往来延べ人数の増加に直に反映されないものもあるが、施策全体としては施策の目指す方向に向かっていくことから、概ね有効である。

【成果指標推移から】 該当なし
 ・成果指標は定めていない。

【総括】
 ・施策満足度は低調なもの、政策評価指標は目標値を達成し、社会経済情勢の推移も施策の目指す方向に向かっていく。また、事業によっては直に業績指標に反映されないものもあるが、施策全体としては施策の目指す方向に進んでいることから、事業群の有効性としては、「概ね有効」と判断する。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的 概ね効率的 課題有

【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】 効率的
 ・政策評価指標値は施策の目指す方向に推移し、中国吉林省友好交流事業や米国デラウェア州姉妹交流事業等の業績指標も増加傾向にあることから、効率的である。

【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】 効率的
 ・海外との交流が拡大傾向にある中で、中国吉林省友好交流事業や米国デラウェア州姉妹交流事業等の業績指標は増加傾向にあることから、効率的である。

【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】 効率的
 ・全ての事業の効率性指標が向上しており、効率的である。

【総括】
 ・政策評価指標等の各種データや業績指標の推移は施策の目指す方向に進んでおり、事業群の効率性は「効率的」と判断する。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・B-1施策目的達成のための事業の設定は「適切」である。そのために役割分担に応じて県の事業を展開しており、県の関与は「適切」である。
 ・B-2施策満足度は低調だが、政策評価指標が目標を達成しており、事業の有効性は「概ね有効」と判断する。県民参加型の国際交流・協力の推進が必要である。
 ・B-3業務指標は政策評価指標の目指す方向と同様に推移しており、事業は「効率的」に展開されていると判断する。
 ・B-1～3の各項目を総合的に判断し、「概ね適切」と判断した。
 ・施策評価からは、県民参加型の国際交流・協力の推進が必要であると判断される。

政策評価指標分析カード(整理番号1)

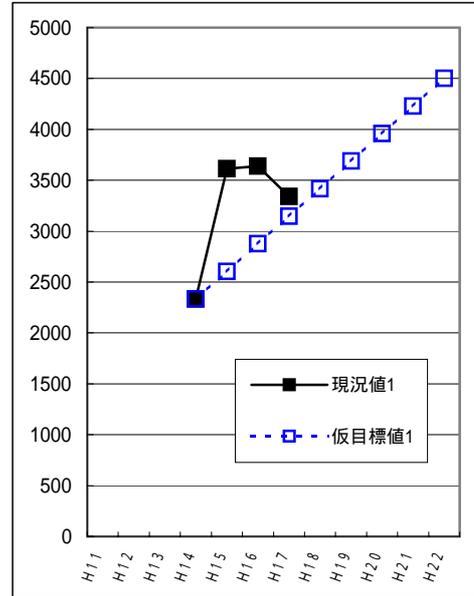
政策整理番号 35

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部国際交流課	関係部課室	産業経済部農村基盤計画課, 森林整備課, 環境生活部環境対策課, 生活・文化課, 教育庁総務課, 高校教育課, 病院局県立病院課
政策番号	4 - 11 - 1	政策名	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進		
施策番号	3	施策名	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標値の推移(グラフ)

政策評価指標名		単位						
公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数		人						
目標値	難易度	H17	3,146		H22	4,500		
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H13				H13	H14	H15	H16
現況値 (達成度判定値)	2,334				2,334	3,613	3,638	3,340
仮目標値					2,334	2,604	2,875	3,146
達成度					...	A	A	A



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・県及び市町村, 学校等の公的主体による交流事業によって, 主体的, 意識的に国際交流に関わった県民及び外国人で, 直接海外と往来した述べ人数。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移	H16	H15	H14			
施策重視度(中央値, 点) A	70	施策重視度 A	70	70	70			
施策満足度(中央値, 点) B	50	施策満足度 B	59	60	60			
かい離 A-B	20	かい離 A-B	11	10	10			
満足度60点以上の回答者割合(%)	42.3	満足度60点以上の回答者割合	49.8	53.3	52.7			

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため, 参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度: A
 ・現況値は, 昨年度を下回ったものの, 仮目標値を上回っている。
 ・国際化が進展する中で, 海外との地域間交流には力強いものがあり, 社会情勢等により変動要因はあるものの, 今後は拡大傾向の推移が見込まれる。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】
 ・本指標は, 公的主体による交流事業で, 施策目的である「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」に直結するものである。
 ・県が積極的に友好姉妹関係にある省州県と国際交流・協力をを行うことにより, 市町村や学生の国際交流を助長し, また, 民間交流の一助となっており, 施策の実現に有効に機能している。
 ・社会情勢や財政事情等により左右される難点もあるが, 政策評価指標として適切である。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 35

対象年度	H17	作成部課室	産業経済部国際交流課	関係部課室	産業経済部農村基盤計画課, 森林整備課, 環境生活部環境対策課, 生活・文化課, 教育庁総務課, 高校教育課, 病院局県立病院課
政策番号	4 - 11 - 1	政策名	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進		
施策番号	3	施策名	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

[政策評価] 施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・政策目的を実現するための具体的分野として重要なものであり, 政策評価指標(公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数)の目標値を達成するため, 引き続き重点的に実施するとともに, 県民参加型の国際交流・協力を推進する必要がある。

[施策評価] 事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・施策の目指す「さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進」を進める事業群であり, 県内における国際交流活動促進及び国際貢献の機運醸成に大きな役割を果たしていることから, 引き続き重点的に事業を展開するとともに, 県民参加型の国際交流・協力を推進する必要がある。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

[方向性の理由]
 ・本政策は, 政策重視度は70点であり, 重視度はある程度高いが, その中でも本施策については, 約44%の県民が優先すべきと回答している。前よりも割合は増加し, これらの施策の中ではこれまでどおり第1位を維持している。施策重視度が70点であるのに対し, 施策満足度は50点であり, 県民は, この施策の必要性が高いものと感じていると判断できる。

[次年度の方向性]
 ・友好関係にある省州県との国際交流については, 広範な県民の参加を得ながら積極的に展開するとともに, 相手方から特に要望の高い経済交流の実現に努めていく。
 ・市町村や教育機関, 民間団体等の姉妹・友好関係については, それぞれの主体性を尊重し, 自主的な活動を期待しつつ, ホ - ムペ - ジ等による有益情報の提供などの面から, さらに支援を充実させていく。
 ・海外技術研修員については, 必要な専門技術の習得や国際交流の架け橋となる人材育成を促進するため, 研修内容を充実させていく。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	友好姉妹省州県交流関係事業	26,022	維持	・中国吉林省, 米国デラウェア州, 伊国ロ - マ県との友好・姉妹交流については, これまでの実績を踏まえて内容を更に充実させ, 県民参加型の国際交流・協力を推進する。
2	主	海外技術研修員受入事業	15,038	維持	・海外技術研修員受入事業については, 受入人数より研修内容を充実させ, 本県の特性を生かした技術協力や国際交流の架け橋となる人材育成に努める。
		合計	41,060		